首相 真珠湾訪問へ

26、27日 オバマ氏と 現職初、開戦の地で慰霊

安倍晋三首相は5日、今月26、27日に米ハワイを訪問し、オバマ大統領と日米開戦の発端となった地である真珠湾で戦争犠牲者を慰霊する意向を明らかにした。官邸で記者団に「二度と戦争の惨禍は繰り返してはならない。その未来に向けた決意を示したい」と述べた。現職首相の真珠湾訪問は初めて。1941年の旧日本軍による真珠湾攻撃から今年で75年となるのを踏まえ「日米の和解の価値を発信する」とも語った。両首脳はアリゾナ記念館でそろって献花する。

（2、10、31面に関連記事）

政府高官は5日夜、訪問に際し「謝罪する必要はない」と指摘した。首相は昨年、戦後70年を迎えたことや「希望の同盟」を説いた米議会演説を行ったのを踏まえ、真珠湾を訪れることを検討してきたと説明した。11月下旬に国際会議のため訪れていたペルーの首都リマでオバマ氏と立ち話をした際に、真珠湾訪問で合意した。

首相はハワイ訪問の際、来年1月にトランプ次期米大統領に政権を引き継ぐオバマ氏との間の集大成となる最後の首脳会談も開催する。「未来に向けて同盟強化の意義を世界に発信する機会にしたい」と強調した。政府筋によると、岸田文雄外相が同行する。

オバマ氏は今年5月に伊勢志摩サミットに合わせて被爆地広島の平和記念公園で原爆慰霊碑へ献花し、被爆者を含む全ての戦争犠牲者を追悼している。「核兵器なき世界」へ決意も表明した。

首相は5月には「現在、私がハワイを訪問する計画はない」と述べていた。日本の歴代首相が真珠湾で戦争犠牲者を慰霊してこなかったのは、日米開戦の責任を一方的に認めることが「謝罪外交」と批判されるのを警戒したのが一因とされる。

首相側はオバマ氏の広島訪問を受け、米国内で首相の真珠湾訪問を期待する声が出たことも考慮したとみられる。首相は「犠牲者の慰霊のための訪問」と位置付けた。

真珠湾訪問を明らかにする安倍首相＝5日夜、首相官邸

オバマ米大統領

真珠湾　米ハワイ・オアフ島にある湾。米軍の太平洋における重要な軍事拠点として利用され、米軍の太平洋艦隊司令部などが置かれている。1941年12月７日（日本時間８日）、日本軍が戦闘機などで奇襲攻撃し、約2400人の米国人が死亡した。中でも1177人が死亡した戦艦アリゾナの沈没は、米軍史上最悪の艦船被害の一つ。日本側は航空機29機などを失い、60人余りが死亡したとされる。米国は翌８日、日本に宣戦布告し、太平洋戦争の戦端を開いた。2008年、河野洋平衆院議長（当時）が真珠湾を訪れ、アリゾナ記念館で献花した。

広島の返礼「和解」演出

（解説）

安倍晋三首相が12月下旬にオバマ米大統領とハワイの真珠湾を訪問することを決めた背景には、太平洋戦争で戦火を交えた過去を乗り越え「和解」に至った日米同盟の重要性をアピールする狙いがある。5月の被爆地・広島に続き、真珠湾という象徴的な場所を共に訪れることで、日米関係を強化したオバマ政権との4年間の集大成とする意図も透ける。

首相は昨年4月、日本の首相として初めて米連邦議会の上下両院合同会議で演説し、先の大戦への痛切な反省や対米戦への「深い悔悟」を表明した。同8月には戦後70年談話を発表し、今年5月とする保守層に反発が根強いとされる謝罪を行わない場合は、「痛切な反省」との整合性を指摘される可能性がある。

だが、訪問の目的はあくまでも「犠牲者への慰霊」だ。首相が支持基盤で、2017年をにらんだ首相の政権戦略にも影響を与えそうだ。

電撃訪問のサプライズ効果で高い内閣支持率を維持したい首相の思惑も垣間見える。政権にとって追い風になるのは確実つなげた。今回の真珠湾訪問は、来年1月に大統領職を離れるオバマ氏への「返礼」（日本政府関係者）の意味合いがあるのは間違いない。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

この記事を200字内で要約しましょう。

名前【　　】

ＮＩＥワークシート／中学～高校生／国語、社会、総合、朝ＮＩＥ